

ビルトイン ガスコンロ

品番 GE-BS751

(単位: mm)

工事される方へのお願い

- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検(有料)を受けてください。

設置工事後の点検確認

● チェックリスト

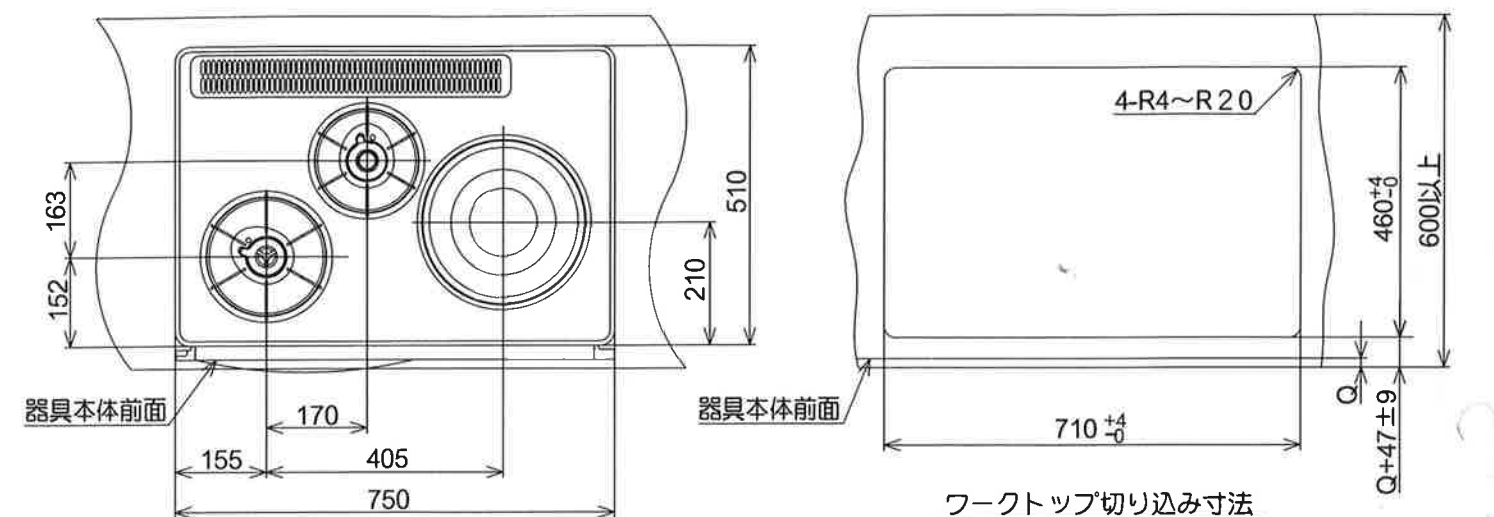
点検項目	点検内容	参照項目	チェック
器具及びその周辺			
ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2	
同梱部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	2	
設置場所	水平で安定した場所に設置されていますか。	2	
給排気設備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2	
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	5	
電気工事	電源コンセント・ブレーカーは専用回路になっていますか。	4	

試運転

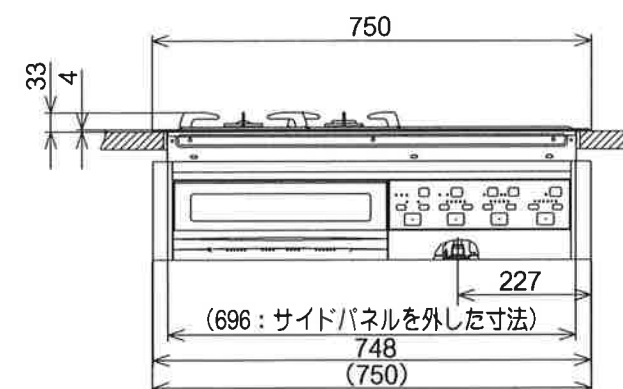
1. 取扱説明書の「使いかた」に基づき試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合などは、ガス栓を閉じるなどしてください。

お客様への取扱い説明

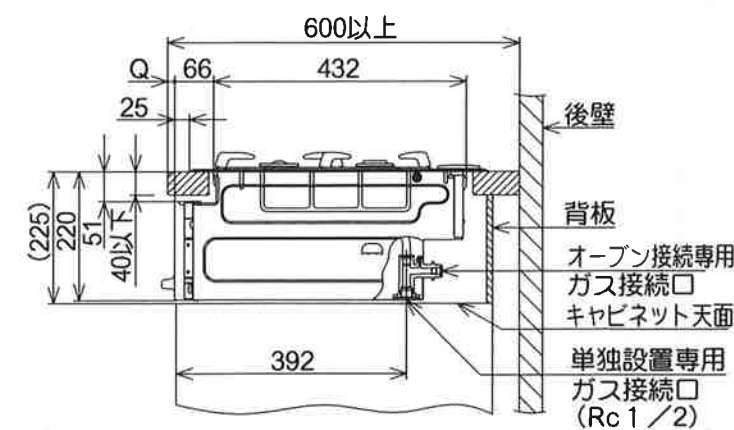
1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も合わせて保管していただくようお願いをしてください。



上面図



正面図



側面図

() 内寸法はキャビネット天面までの寸法です。

※背板がない場合、器具に異常を及ぼす恐れがありますのでベニヤ板などで器具の後方をふさいでください
(段ボールなど燃えやすいものは使用しないでください。)

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

器具を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った設置工事を行なうと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■建築基準法、消防法、各都市の条例、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)電気設備技術基準などに従う

■この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう



有資格者以外のもとでの工事は不備による火災や器具故障の原因となります。

■100V・15A以上の専用回路を設置する



他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。

■絶対に分解・修理・改造は行なわない



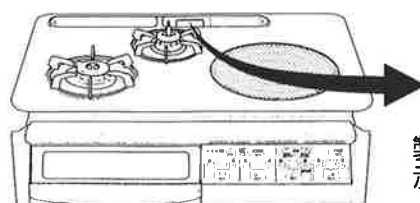
分解禁止

発火・異常動作してけがをすることがあります。



注意

■銘板に表示のガス種を使用する



製造年月(〇年×月製)を示します。

都市ガス12A・13Aの場合

型式名	都市ガス用	
ガス区分	12A	13A
ガス消費量		
〇〇〇〇年××月 松下電器産業株式会社		

異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず給気口を設ける



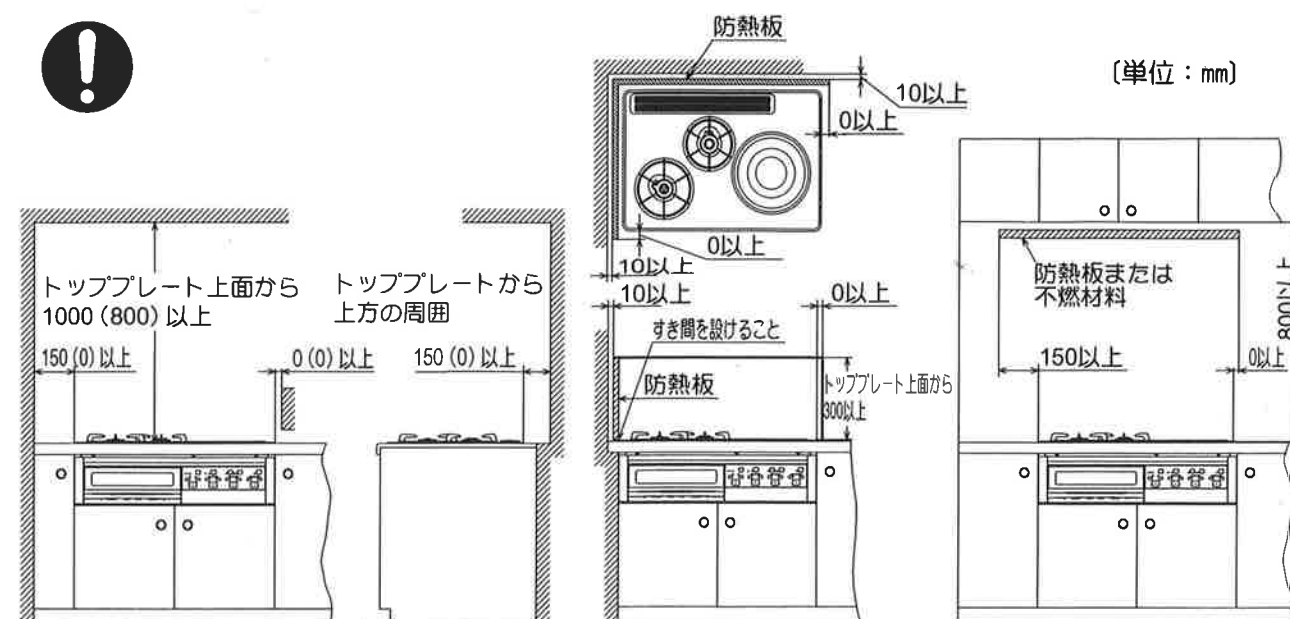
(給気口の大きさは、1.16 kW (1 000 kcal/h) 当たり 10 cm²以上を目安にする。)

十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。



注意

■周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する



器具と壁面との間隔を15 cm以上離せない場合、または吊り戸棚などの下面との間隔を100 cm以上離せない場合には、壁面および器具上部へ図のように防熱板または防熱板相当の不燃材料を取り付ける。

上図は器具と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分など」との離隔距離を示す。可燃性の壁に、ステンレス板などを貼り付けてご使用の場合も上記内容に従ってください。

※()内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。

上図の離隔距離を確保できないと器具または建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない



火災の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。

■この器具を設置する台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても指定の内装材を使用する



建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず排気口を設ける



●ガス消費量が11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合は器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける

十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 注意

■できるだけ湿気の少ない場所に設置する



水のかかる場所は部品の故障やガスの破損の原因となります。また、器具の寿命が短くなります。

■丈夫で水平な場所に設置する



水平になっていないと、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

■器具の回りや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類などの燃えやすいものを置かない



火災の原因となります。

■ガス接続工事は必ず有資格者が行なう



有資格者以外のもとの工事は、不備によりガス漏れなどの原因となります。

■電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行なう



接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

■棚の下など、落下物の危険のある所、および樹脂製の照明器具の下には設置しない



落下物による火災や、熱による照明器具の変色の原因となります。

■金属製のワークトップに設置する場合は必ず絶縁テープなどで絶縁処理をする



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準 182 条により義務付けられています。)

■ワークトップの表面がニス引きのものは使用しない



熱による変色の原因となります。

■ワークトップの材質は、熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の材料を使用する



他の材質のものを使用すると過熱し、火災の原因となります。

■IHプレートに衝撃を加えない



万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。

※IHプレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。

■試運転中は、IHプレートなど高温部に触れない



接触禁止 やけどの恐れがあります。

お願い

■器具後方の排気口を水切りカバー(水返しカバー)などでふさがない。また本体をタイルやモルタルなどで塗り込まない

■グリル上部のワークトップ部は、高温になるため、塩化ビニル樹脂など耐熱温度の低い材料の使用は避けてください

メンテナンス時に修理ができないことがあります。

3. 同梱部品の確認

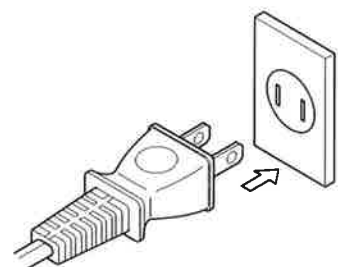
部 品 名	形 状	個 数	部 品 名	形 状	個 数
バーナーキャップ (左コンロ用)		1	排気口カバー		1
バーナーキャップ (奥コンロ用)		1	グリルアミ		1
ごとく・左		1	サイドパネル 左		1
ごとく・奥		1	サイドパネル 右		1
しる受け皿・左		1	止めねじ (本体ハンドル部に取付)		4
しる受け皿・奥		1	取扱説明書		1
バーナーポート (左、奥)		2	設置工事説明書		1

4. 電気工事

●電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。

⚠ 警告

■電源プラグにほこりが付着していないか確認し、刃の根元までしっかり差し込む



ほこりの付着や、コンセントへの接続が不十分な場合は、感電や火災の原因となります。

⚠ 注意

■電源工事や設置工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」などに準じる



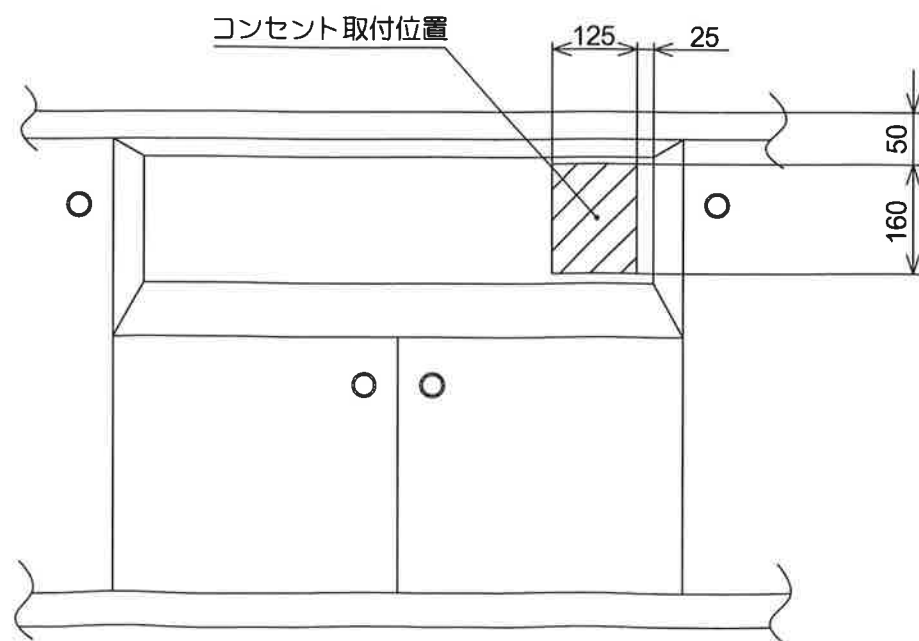
コンセント

●専用コンセントを設けてください。なお電気容量は15 A以上にしてください。

電 源	AC100 V 50-60 Hz
消費電力	1 400 W

この器具はAC100 V用です。必ず電源を確認後、プラグを入れてください。
※ビルトインガスオープン接続時も、オープンとは別の専用のコンセントを設けてください。

(単位: mm)



5. ガス配管・接続工事

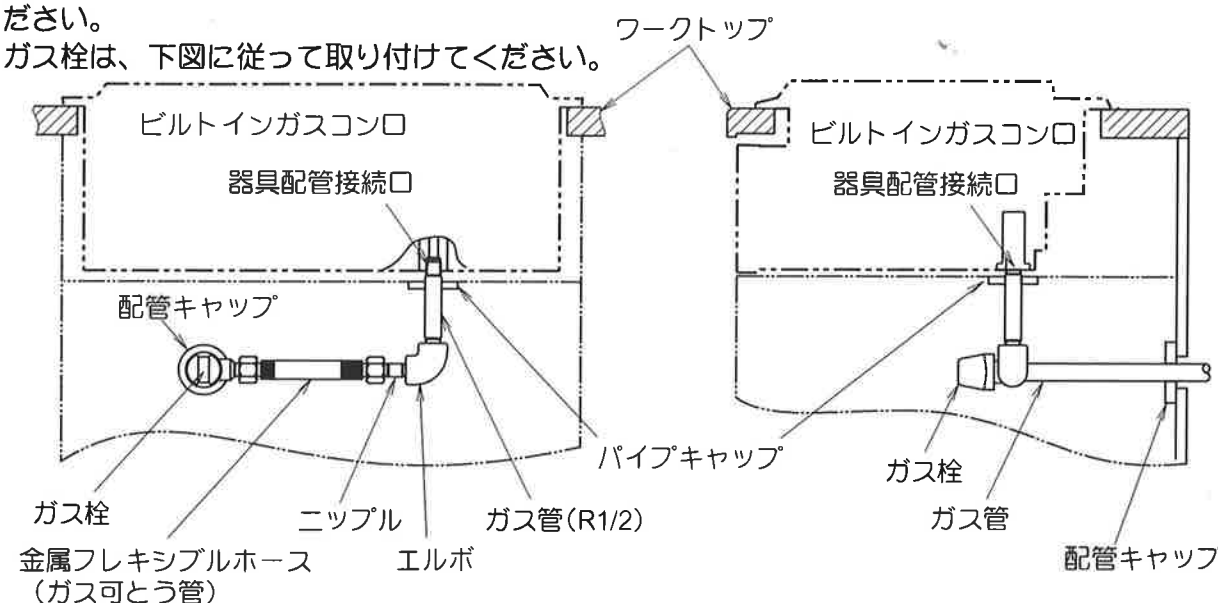
ガス配管工事

器具を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換する必要があります。なおガス栓の新設・交換はガス事業者にご相談ください。

ガス接続方法

ビルトインガスコンロ単体で設置する場合

- ガス接続はRc1/2メネジになっています。必ず金属管または金属可とう管にてガス接続してください。
- ガス栓は、下図に従って取り付けてください。



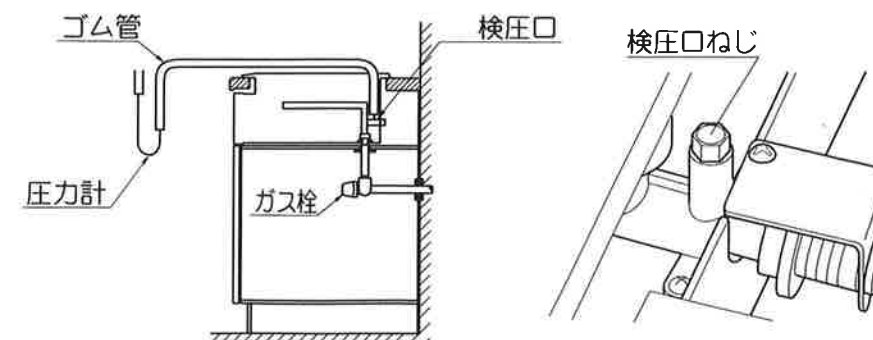
※パイプキャップや配管キャップを取付け、配管周囲の隙間はなくすようにしてください。隙間が大きいとバーナーの吹き消えや炎の吸引による異常過熱の原因となります。

ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンセットで設置する場合

- ガス接続、配管工事は、オープン側の「設置工事説明書」を参照してください。

工事後のガス漏れの確認

- 検圧口に圧力計を接続し、ガス栓を開いてガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下らないことを確認してください。



〔ガス漏れの確認終了後〕

- 検圧口ねじは、Oリングがついていることを必ず確認してから確実に取り付けてください。

5. ガス配管・接続工事

ガス接続工事

ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンとのガス接続方法

⚠ 注意

- Oリングについて次のことを確認する
- 金属可とう管に付いていること
 - 傷がないこと
 - 1個のみ入れ、複数個入れない

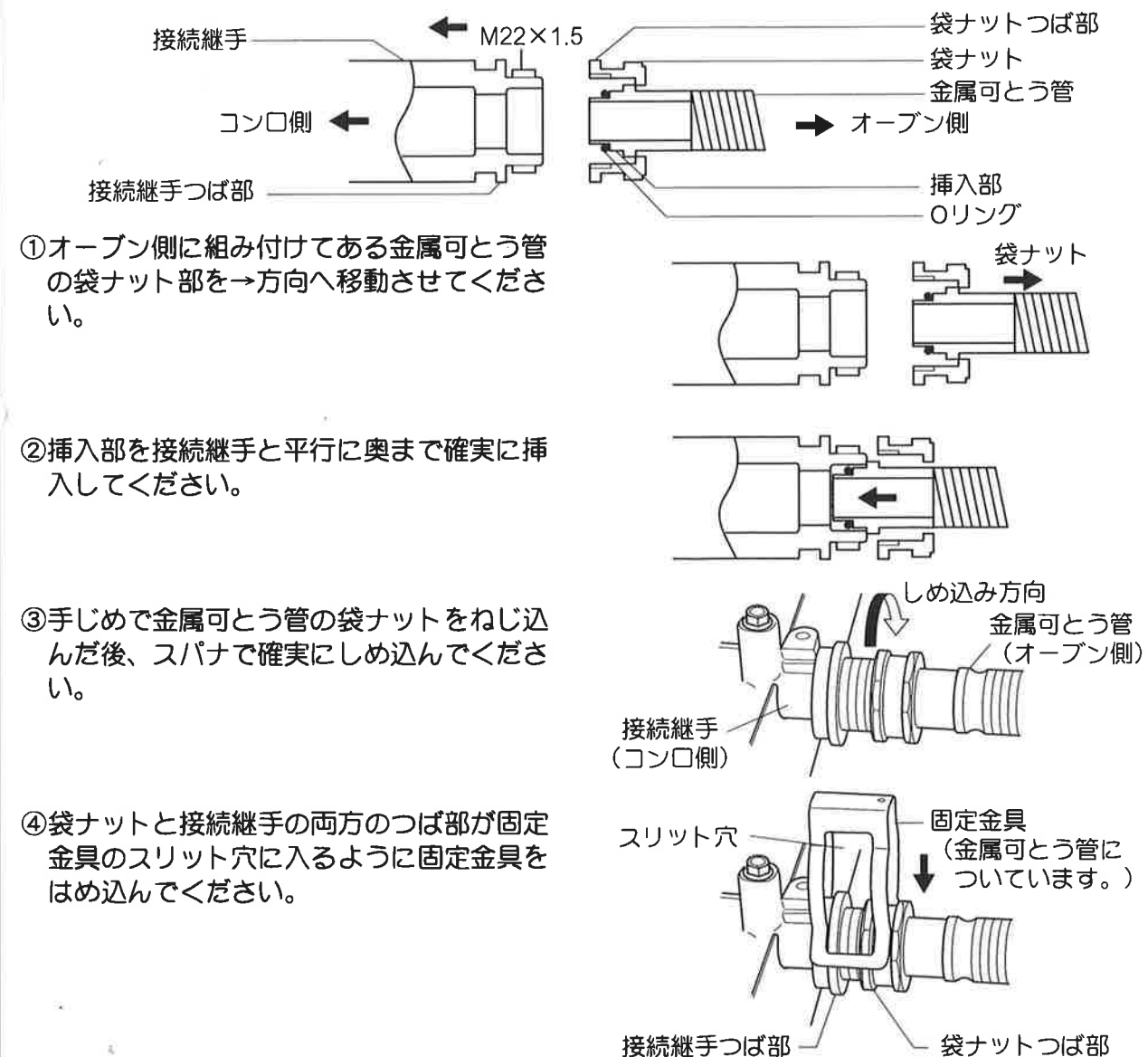


ガス漏れの原因となります。

- 固定金具のスリット穴の中に接続継手と金属可とう管の袋ナットのつば部が入っていることを必ず確認する

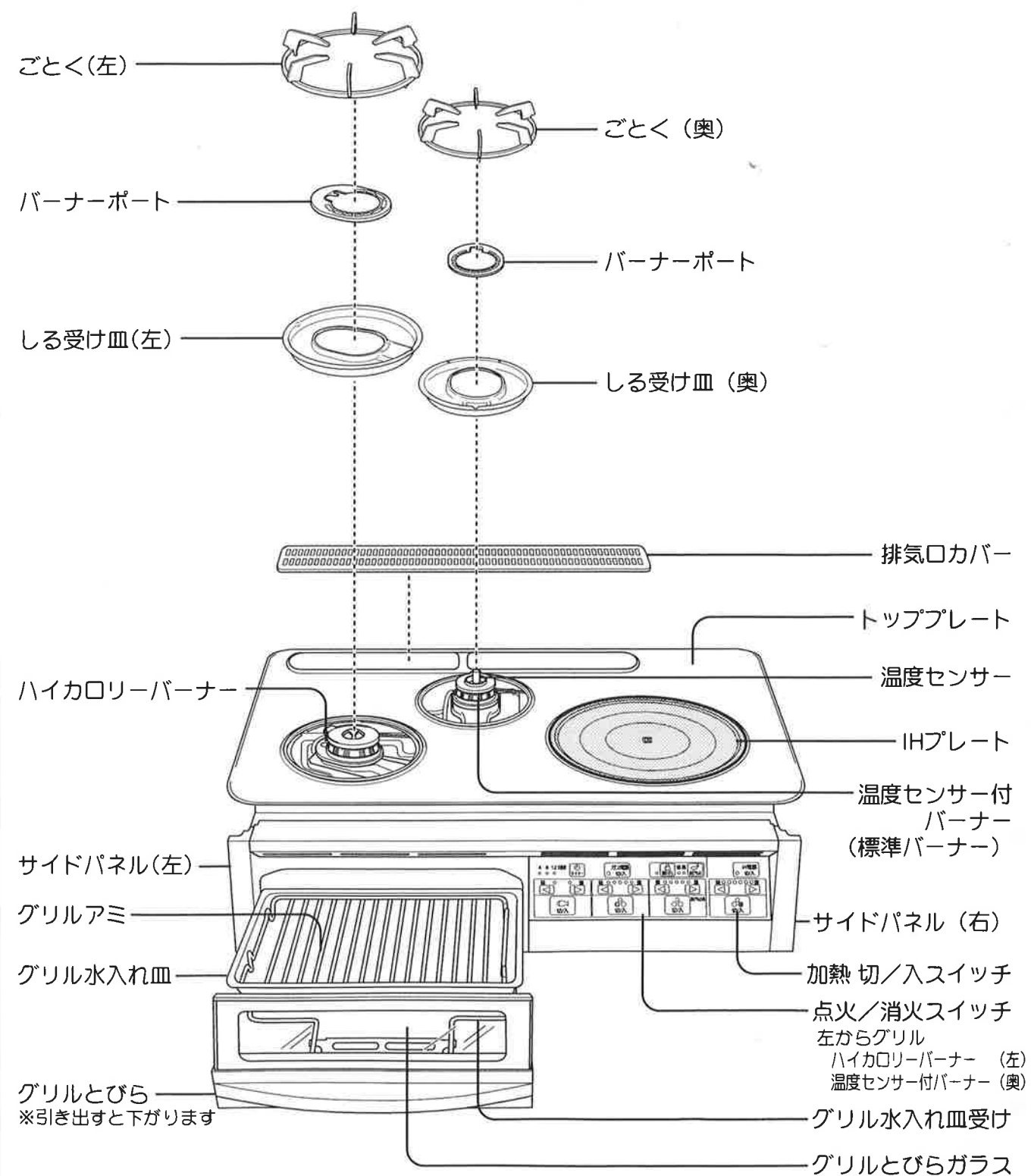


金属可とう管の袋ナットの締まりが不十分であるとスリット穴につば部が入らず、ガス漏れの原因となります。



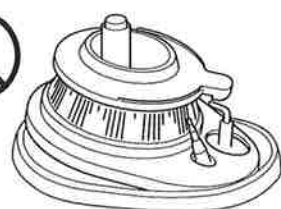
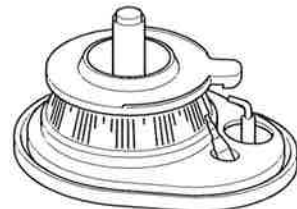
6. 器具の設置

設置部品の概要



⚠ 注意

■バーナーキャップは正しくセットする

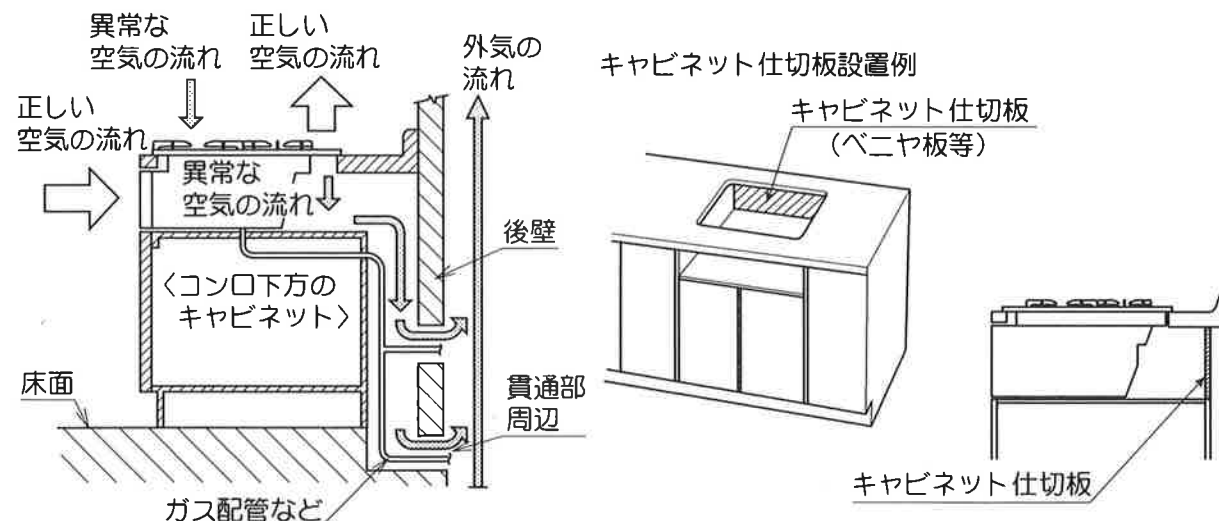


浮いた状態で使用すると、点火しなかったり異常燃焼や変形の原因となります。

■キャビネットに背板があるか確認する

ベニヤ板などにより器具の後方をふさいでください。

キャビネットに背板が無い場合、後壁の配管貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり、火が消えたり、温度センサーが正しく働かないことがあります。



器具設置時のお願い

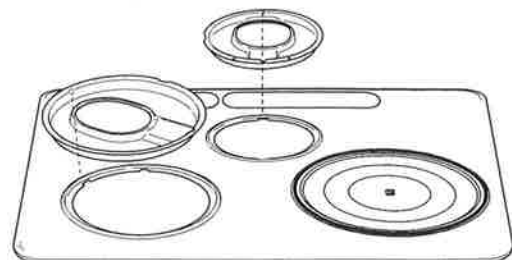
●バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていないか確認する。



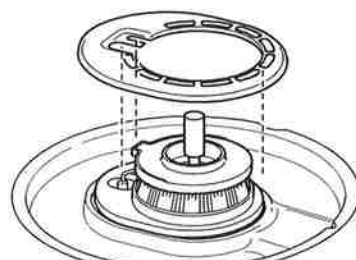
お願い

●ごとく・排気口カバー・しる受け皿は、トッププレートへ衝撃を与えないように取り付けてください。
(フッ素コートはく離の原因)

●しる受け皿は、トッププレートに正しくセットしてください。



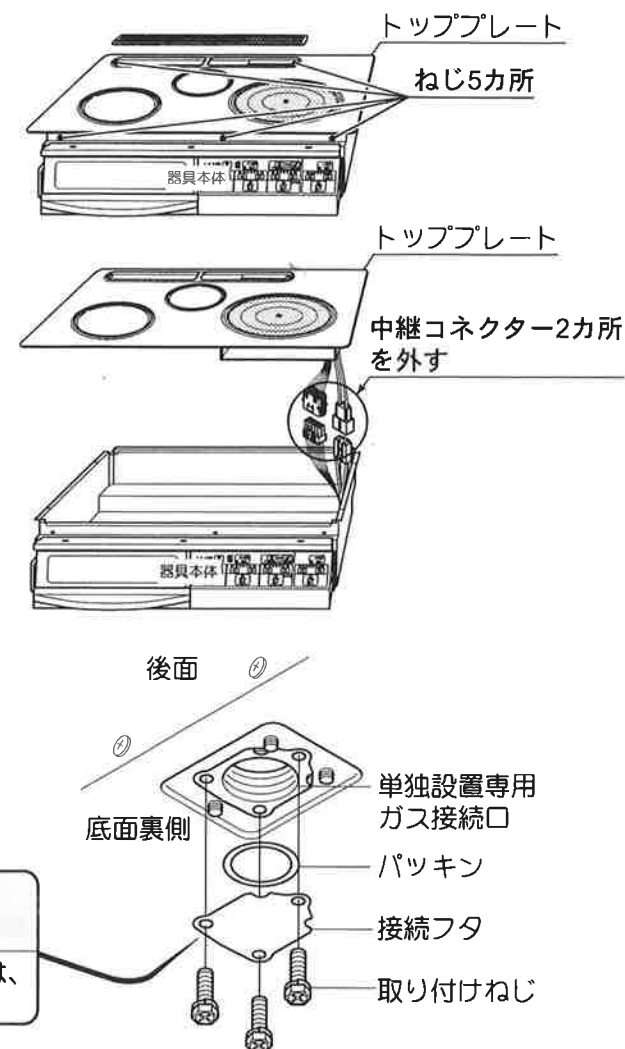
●バーナーポートは、しる受け皿をセットした後、バーナーキャップに正しくセットしてください。



ビルトインガスコンロ 単独で設置する場合

① 部品の取り外し

- バーナーポート、バーナーキャップ、しる受け皿、排気口カバーを取り外してください。
 - グリルとびらを少し持ち上げるようにして、グリル水入れ皿を引き出してください。
 - トッププレートを右図を参照して外してください。
- 1 ねじ5カ所を外してください。
取り外したねじは、部品の取り付け時必要です。
 - 2 トッププレートを持ち上げ、右図中継コネクタ2カ所を外してください。

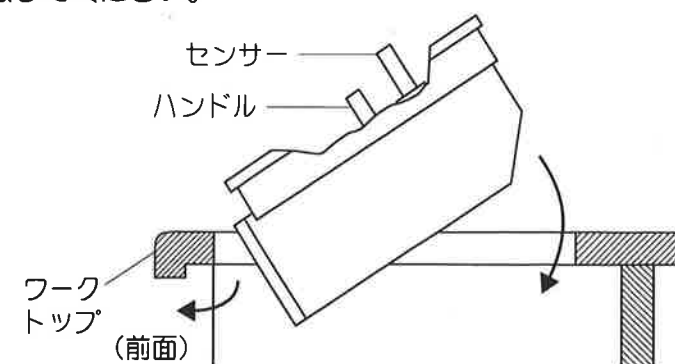
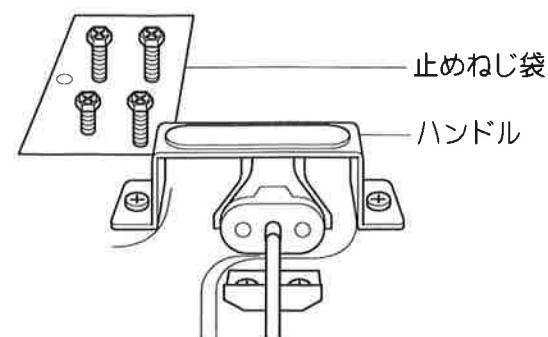


⚠ 注意

■オープンと接続する場合は、接続フタを外さない

② 本体の設置

- 本体から止めねじ袋を取り外してください。
- ブレーカーを「切」にした後、コンセントに電源プラグを差し込んでください。
- 上面のハンドルを持ち、下図のようにワークトップに挿入し、はめ込んでください。
※センサーや器具の前面をワークトップに当てないでください。
※本体電源コードがかみ込まないように注意してください。

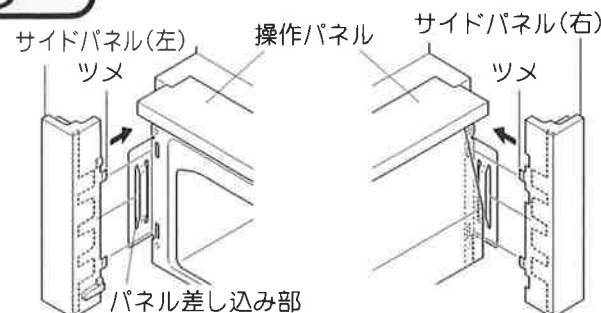


6. 器具の設置

ビルトインガスコンロ 単独で設置する場合

③ サイドパネルの取り付け

- 操作パネルの角穴(上下 2 カ所)にサイドパネルのツメを挿入する。
※パネル差し込み部が変形したり、左右に傾いていないことを確認してください。
※サイドパネル右と左の形状が異なりますので注意して取り付けてください。
※サイドパネルの側面と上面を操作パネルに合わせて挿入してください。



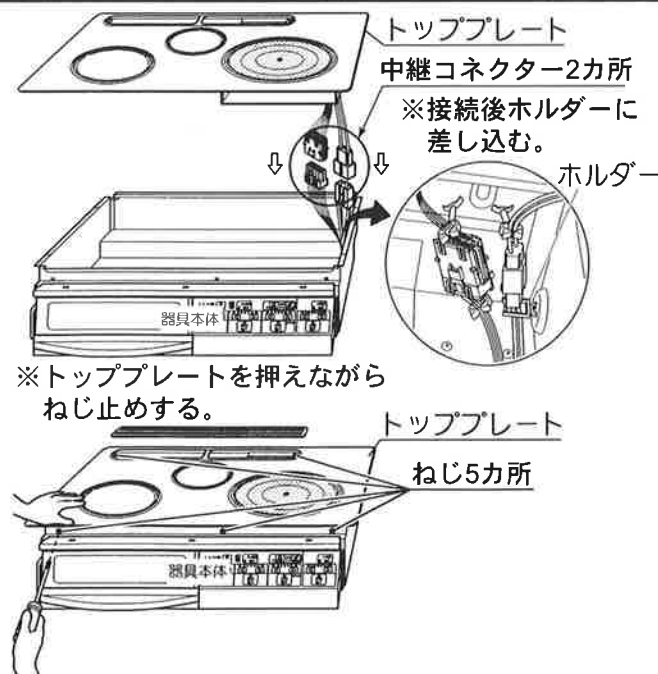
④ 本体の固定

- 本体の位置決め後、止めねじ袋から止めねじ 4 本を取り出し、本体を固定してください。
- 右前の止めねじは、黒色を使用してください。
- 締付け要領
止めねじ先端がワークトップに触れてから約1.5回転程度
※必ずハンドドライバーを使用し、締付け過ぎないようにしてください。(締め付けすぎるとトッププレートの装着が困難になります。)



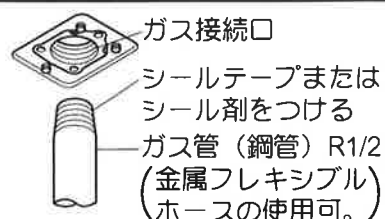
⑤ 部品の取り付け

- トッププレートを右図の手順で固定してください。
- 1 中継コネクター 2 カ所を接続し、トッププレートを取り付けてください。
- 2 ねじ 5 カ所を締め付けてください。
(前面 3 カ所、排気口部 2 カ所の順で締め付けてください。)
- ※トッププレートが確実に固定されているか(5 カ所)、また、トッププレート周囲が浮いていないか確認してください。
- バーナーキャップ、しる受け皿、バーナーポート、ごとの順でセットしてください。
- 排気口カバーをセットしてください。
- グリル水入れ皿を引き出した時、グリルとびらが下がるようにグリルとびらとグリル水入れ皿は分離していますので、外れた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。



⑥ ガス接続

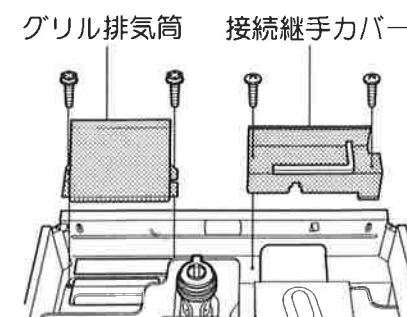
- 必ずガス漏れ検査を行なってください。
(5. ガス配管・接続工事 参照)



ビルトインガスコンロとビルトインガス

① 部品の取り外し

- バーナーポート、バーナーキャップ、しる受け皿、排気口カバー、グリル水入れ皿、トッププレートを取り外してください。
(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の①参照)
- グリル排気筒と接続継手カバーの取り外し。
 - ねじ 2 本を外して、グリル排気筒を取り外してください。
 - ねじ 2 本を外して、接続継手カバーを取り外してください。
- ※グリル排気筒と接続継手カバーとねじ 4 本は、「⑦グリル排気筒の取り付け」「⑧接続継手カバーの取り付け」で必要になりますので捨てないでください。
- コンロボデー後部に角穴をあける。
 - 角穴部のラインに沿って、ニッパーなどで切り取る。(マイナスドライバーなどで打ち抜く。) 切り取った板は不要です。
- 閉止栓の取り外し。
 - 黒ねじ 1 本を外して、閉止栓固定板を取り外してください。
 - 次に、閉止栓を後方へ引き抜いてください。取り外した閉止栓固定板・閉止栓・Oリング・黒ねじは不要です。
- ビルトインガスオープン側の作業
→ビルトインガスオープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行なってください。

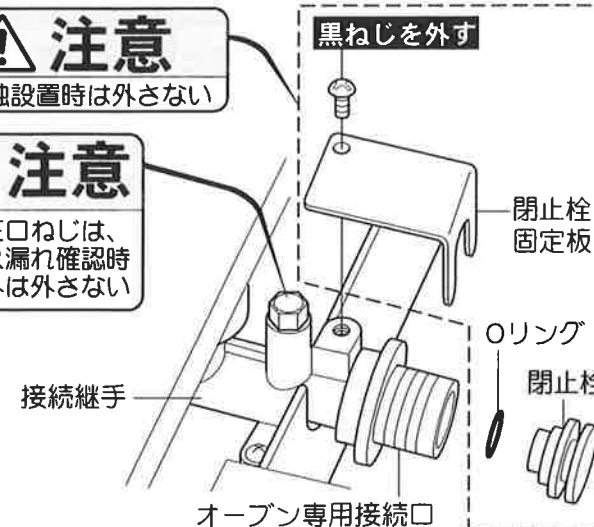


注意

■ 単独設置時は外さない

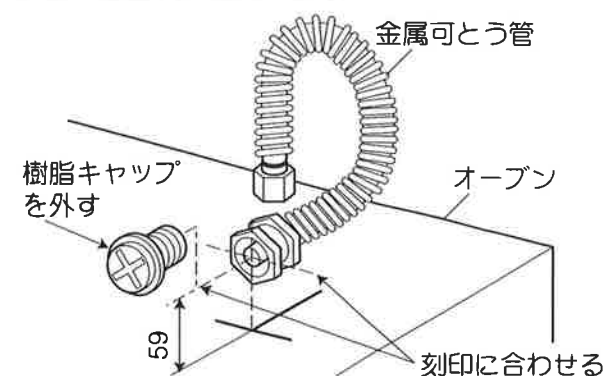
注意

■ 検圧口ねじは、ガス漏れ確認時以外は外さない



② ビルトインガスコンロ本体の設置

- 接続時は白い樹脂キャップを外す。
外した樹脂キャップは不要です。
- ビルトインガスコンロをはめ込む前に、オープン側の金属可とう管を右図のような形状・寸法に曲げてください。
- ビルトインガスコンロ本体のはめ込み
(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の②参照)



オーブンをセットで設置する場合

③ サイドパネルの取り付け

(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の③参照)

④ ビルトインガスコンロ本体の固定

(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の④参照)

- オープン側は、オープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照してください。

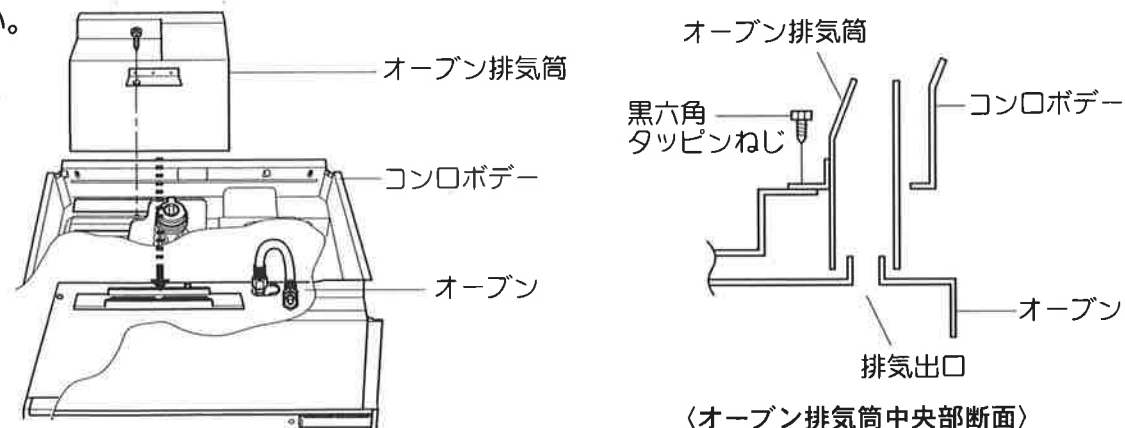
⑤ オープンとビルトインガスコンロの接続

(接続の方法は、5. ガス配管・接続工事 参照)

- オープン側に組み付けてある金属可とう管をビルトインガスコンロ側の接続口と接続してください。

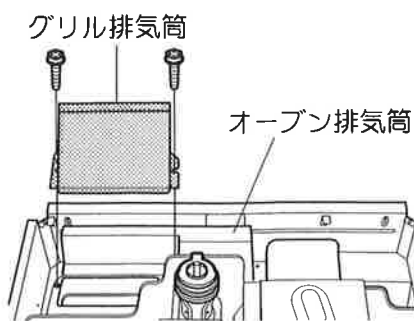
⑥ オープン排気筒(オープン側の付属品)の取り付け

- ビルトインガスコンロのボデー後部に開口した角穴を通して、オープン排気筒をオープン後側の排気出口に確実に差し込み、ねじ1本(オープン側に付属)でビルトインガスコンロのボデーに取り付けてください。



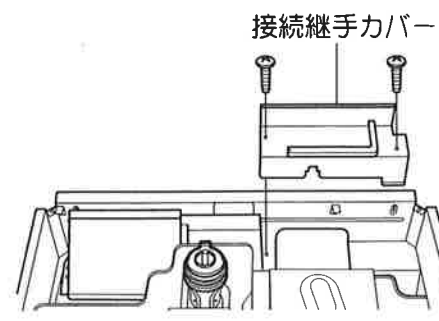
⑦ グリル排気筒の取り付け

- 元の状態に、グリル排気筒を取り付けてください。
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「グリル排気筒の取り外し」と逆の手順になります。)



⑧ 接続継手カバーの取り付け

- 元の状態に、接続継手カバーを取り付けてください。
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「接続継手カバーの取り外し」と逆の手順になります。)



⑨ 部品の取り付け

- トッププレート、バーナーキャップ、しる受け皿、バーナーポート、ごとく、グリル水入れ皿、排気口カバーの取り付け(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の⑨参照)

⑩ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なってください。(5. ガス配管・接続工事 参照)
- ビルトインガスオープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行なってください。

7. 試運転

試運転を行なう

- 表面の「設置工事後の点検確認」の「●チェックリスト」によりチェックする。
- 取扱説明書に従って、コンロ、グリルの点火確認および試運転を行なってください。
- コンロバーナーの燃焼に異常がないことを確認してください。

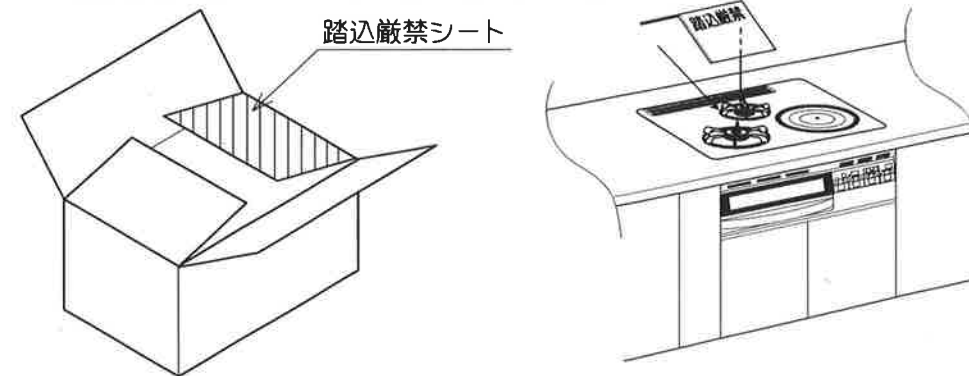
都市ガス用で万一リフティング(飛火)や逆火などが発生した場合、ダンパーを矢印(←→)の方向に動かして先端にやや丸みがある炎に調節してください。



8. 踏込厳禁シートの取付け

踏込厳禁シートを取付ける

- 踏込厳禁シート(梱包箱の右フラップ)を切り取り、器具上面に置いてください。



製造者

松下電器産業株式会社 ガスシステム事業部

奈良県大和郡山市筒井町800

TEL (0743) 56-1121 〒639-1188

KGL0313P30A1 F0799-0